

ラーニングスペース端末の設置

1. 背景

メディアセンターでは 2009 年度より、池袋キャンパスを中心にラーニングスペース環境を整備してきた。2009 年度には 5 号館 1 階、8 号館 1 階、3 階、4 階、5 階に、2010 年度にはウィリアムズホール 2 階、8 号館 2 階、14 号館 1 階にそれぞれラーニングスペースを設置している。

2011 年度には、4 月に池袋キャンパスに新設されたマキムホールの中 2 階、2 階、3 階にラーニングスペースの設置が計画された。

特に中 2 階は学生がグループで集えるラウンジとして想定され、その中の一部としてラーニングスペースを設置する方針で施設課、学生部、メディアセンターとの間で調整が行われた。しかし、2012 年度のロイドホール新設作業の影響で 12 号館の図書館内にある図書閲覧スペースが縮小されたことに伴い、急きょマキムホール中 2 階は図書館閲覧スペースの代替として学生の自習場所として使用されることになった。そのため当初の予定とは異なり、この自習場所の一部としてラーニングスペースが設置される形となった。(2012 年度からは当初計画されていた学生ラウンジとして使用される予定。)

マキムホール 2 階、3 階は、学生が教室移動時に邪魔にならないよう、導線から外れた廊下のハイカウンター型机にラーニングスペース端末を設置している。

2. システムと利用状況

マキムホール 1 階には国際センターが設置されており、海外からの留学生の出入りが想定されること、また、今後のグローバル化を見込み、ラーニングスペース端末のオペレーションシステム (OS) には Windows7 の英語版を採用した。構築システムには管理面とセキュリティ面を配慮し、画面転送型のシンククライアントシステムを採用している。

ラーニングスペースに英語版 OS を導入するのは初の試みであったが、利用率は徐々に伸びてきている。今後、海外からの留学生を対象としたガイダンスで利用方法について案内することが予定されており、利用率のさらなる増加が予想される。



図：マキムホール 図面